

地域とともにある学校

きのくにコミュニティスクール

和歌山県立橋本高等学校
古佐田丘中学校

校長 雑賀 敏浩

まのくにコミュニティスクール

子供も大人も、みんなが「当事者」となり、ふるさとへの誇りを持ち、学校と地域が一体となって特色ある学校づくりを進める

～ふるさとの未来を託せる

子供を育てるために～

H30年度に全県立学校・H31年度中に
全公立学校に学校運営協議会を設置

コミュニティ・スクールの機能

学校運営協議会

学校・地域がともに学校の運営に取り組む

③ 学校評価



学校

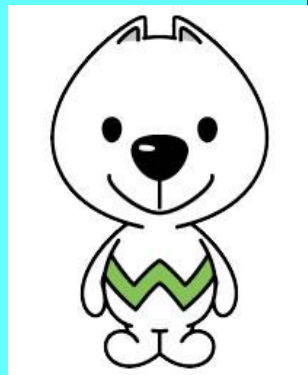


① 地域貢献



② 学習支援

和歌山県 橋本市



きいちゃん



はしぼう

和歌山県の人口と課題

(県長期総合計画より)

▶ 本県…人口減少 (全国より早い流れ)

2018年

2060年

94万人

50万人



2060年

70万人

激減が予想される

高齢者1人を現役
世代2人で支える

○ 県外進学率 86.1% (H28 全国1位)

「未来を拓くひとを育む和歌山」

(県教育振興基本計画)

和歌山の子どもは
和歌山で育てる

県立学校の学級数確保

県内への大学誘致

- ・東京医療保健大学
(以下今後開学予定)
- ・和歌山信愛大学
- ・県立医科大学薬学部
- ・宝塚医療大学

県内企業への
就職促進

県内企業就職サマー
ガイダンス等の実施



和歌山県立橋本高等学校・古佐田丘中学校

(併設型中高一貫教育校)



「自活と自由」



高校 675人

H30年3月卒業生合格状況

国公立大学 47名

私立大学等 361名

専門学校等 11名

就職(企業・公務員)4名



平成29年度部活動等

全国大会出場

ソフトテニス男子・

放送部・数学情報部

陸上部(中学校)

中学校 120人



期待される学校像

- ・進路志望を実現できる学校
- ・部活動等に打ち込める学校
- ・地域に貢献する学校

**地域・家庭と連携した
生徒の活動の現状は??**

中学校 土曜講座

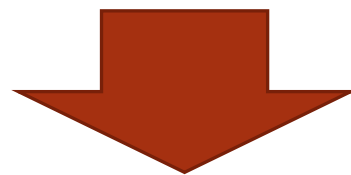
学校の授業では学べないものを学べる機会を！

PTA主催 (受講料：1回 1000円)

講師：地域人材 対象：中学生

開講科目 (英語・数学・理科・中国語)

年間 38回開催 (平成29年度)



数学 : 「なぜそうなるのか」、考える力

理科 : 工夫して実験する体験、柔軟な理解力

英語 : 英語を好きになる、文法力・基礎力

中学校 ふるさと学習（地域を学ぶ）

1年生

- ・地域の史跡を訪ねる
（橋本市観光協会）
- ・ふるさと学習発表会
（中学2年生による）

2年生

- ・ふるさと講演会
（県立博物館学芸員）
- ・ふるさと学習発表会
（中学1年生へ向けて）
- ・町石道 体験学習
（世界遺産マイスター）
- ・丹生都比売神社学習
（神社関係者）

3年生

- ・ふるさと講演会
（県立博物館学芸員）
- ・町石道 体験学習
（世界遺産マイスター）
- ・ふるさと学習発表会
（校内発表会）
- ・命の授業
（橋本市保健福祉センター）

高校 地域学習（地域から学ぶ）

1年生

- 人権教育研修会
(福祉事業施設職員等)
- 交通安全講話
(橋本警察署)
- 職業別ガイダンス
(地域で働く大人12名)

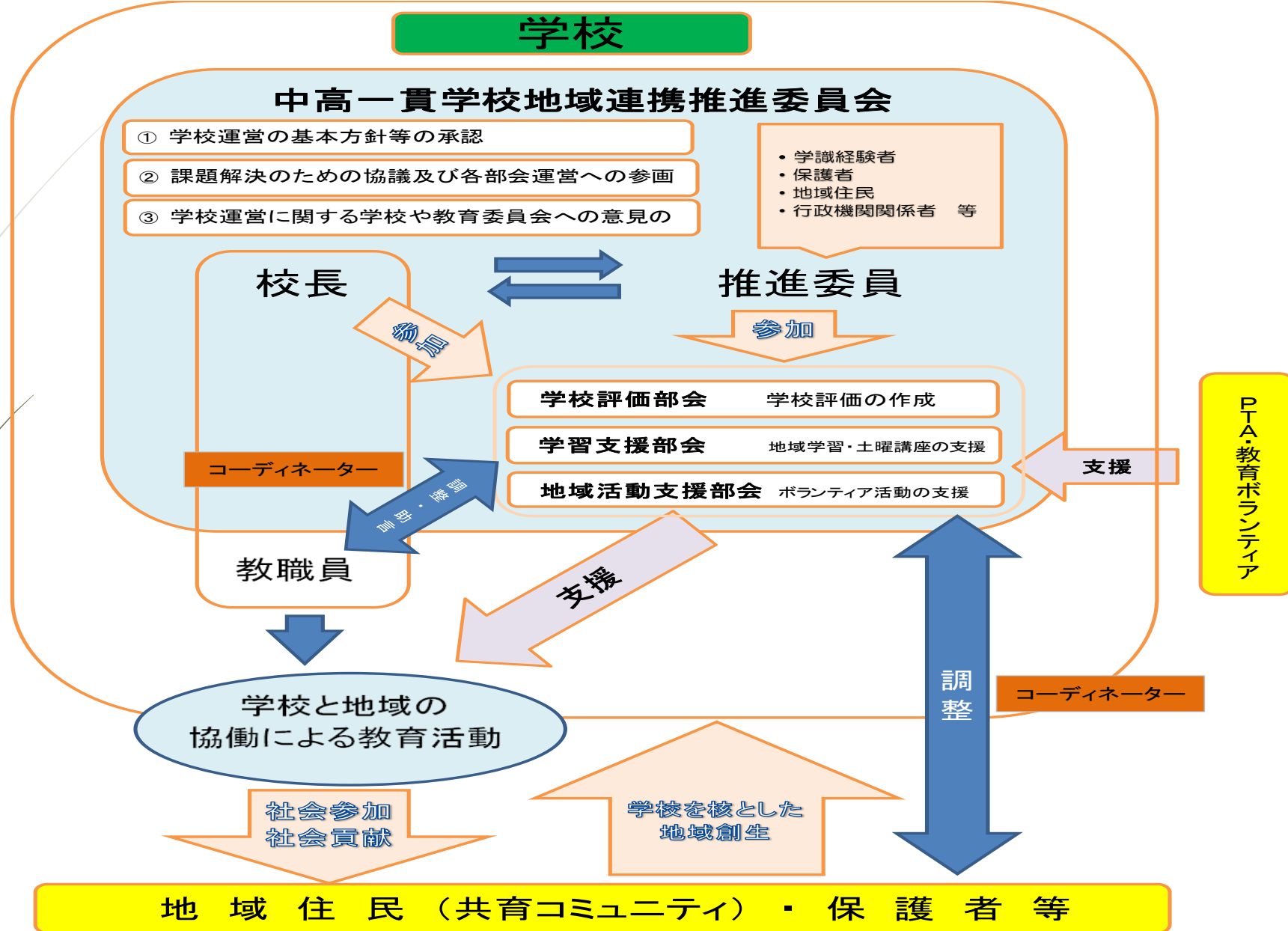
2年生

- 夏休みボランティア体験
(橋本市社会福祉協議会)
- ボランティア体験発表会
(ボランティア受入れ施設)

3年生

- 主権者教育
(県政お話講座)
- 年金講座
(和歌山東年金事務所)
- 消費者講座
(橋本市市民生活課)
- 税についての講演会
(粉河税務署)

橋本高等学校・古佐田丘中学校 コミュニティ・スクール



学校運営協議会での議論 (中高一貫学校地域連携推進委員会)

生徒の地域貢献活動を活発にするために！

○ 委員から

- ・ 高野山での外国人観光ガイド
- ・ 地域安全マップづくり（警察）
- ・ 長期休業中の小学生の学習支援

○ 学校から

- ・ 英語会話の機会
- ・ 大学生による学習支援者
- ・ 生徒会ボランティアセンター



(第1回学校運営協議会)

①

地域貢献部会

- 生徒会・部活動のボランティア

バトン・新体操 音楽 科学
放送 吹奏楽 演劇 ダンス
野球 陸上 数学情報 邦楽 図書

- 夏休みボランティア体験

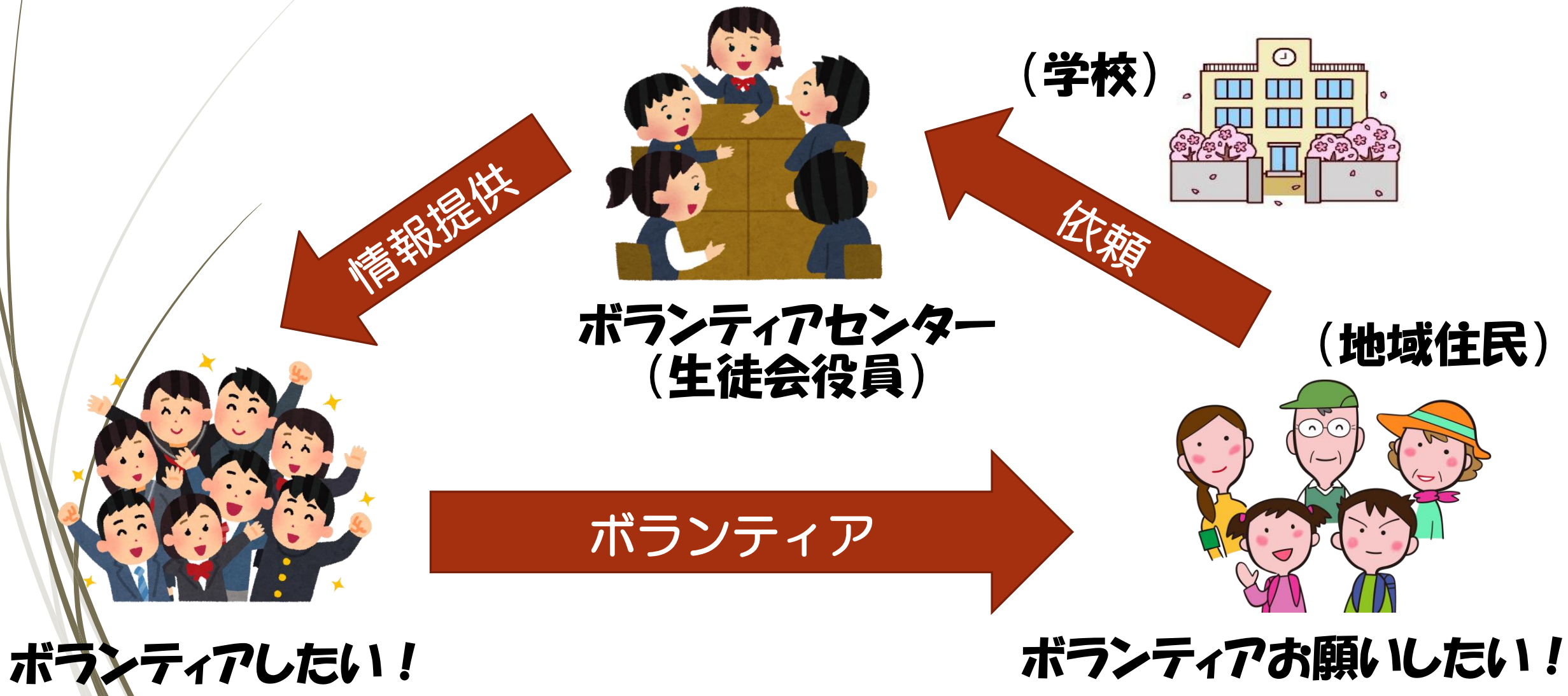
高校2年生 240名 (のべ300名)

夏休み 橋本市内の約45の施設

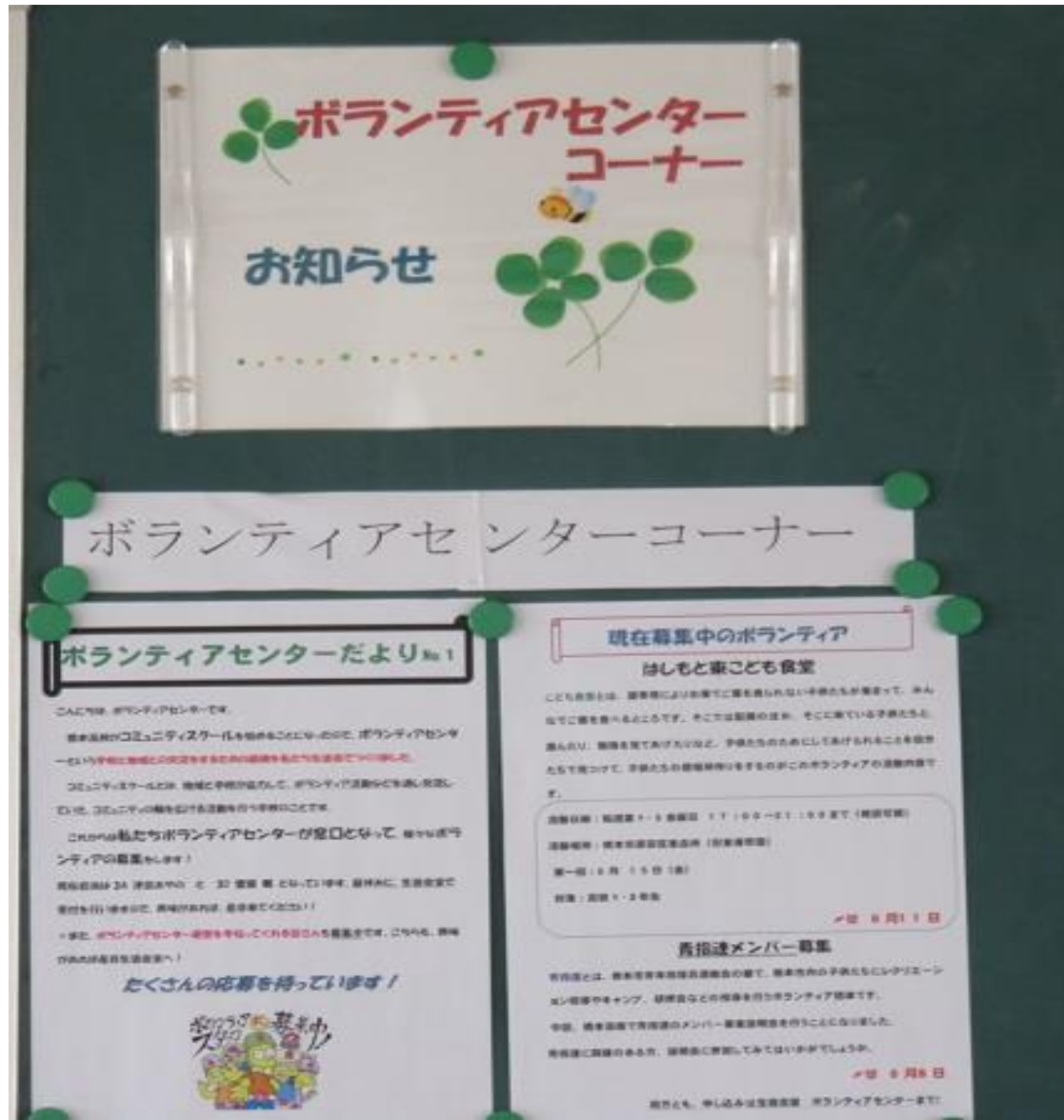
10月 体験発表会 (施設の方々から助言)

※ 継続的・主体的な活動へ発展させるために

生徒会ボランティアセンターの設置



ボランティアセンター 掲示板



ボランティアセンターだよ！ (抜粋)

はしもと東こども食堂ボランティア募集

(場所) 橋本市原田区集会所 (旧東保育園)

(日時) 毎週第1, 3金曜日 17:00~

(対象) 高校1, 2年生

(内容) こども食堂とは、諸事情によりお家でご飯を食べられない子供たちが集まってみんなでご飯を食べるところです。

参加している子どもたちの食事の配膳を手伝ったり、一緒に遊んだり、勉強をみてあげる等、子どもたちのために自分ができることを自分たちでみつけて、子供達の居場所作りをします。

※ 申し込みは 生徒会室 ボランティアセンターまで！

ボランティア活動から

**地域の実情や課題を知り、
主体的に地域の未来を考え、
行動できる生徒を育成する！**

地域貢献活動へ

② 学習支援部会

学校の授業では学べないものを学ぶ機会を！

・ 地域人材活用

人権教育研究会	(橋本市福祉事業施設)	1年
交通安全学習	(橋本警察署)	1年
職業別学習	(地域で働く人、卒業生)	1年
消費者教育	(橋本市市民生活課)	3年
主権者教育	(県政お話講座、知事室広報課)	3年
命の授業	(橋本市保健福祉センター)	中3年
ふるさと学習	(橋本地域、高野山)	中1, 3年

大学入試改革 (現高1生から)

- ① 大学入学共通テスト 記述式
- ② 英語4技能外部検定試験活用
- ③ 多面的総合入試の拡大(地域貢献活動)

※ 学校から運営協議会へ要望

土曜講座を活用した英会話

オンライン・スピーキング・トレーニング (ベネッセ)

PTA主催

対象：高校1年生

内容 **1対1による英会話 30分** (Basic・intermediate)

場所：情報処理教室

(1講座10名程度、1日2講座)

目的：英語での発話・会話に慣れる
英語の表現方法を身につける
即答力を上げる

※1回864円、テキスト代970円



今後の課題

- ① 生徒は現実の社会の問題に向き合うことで、社会とのつながいを意識する。その変容を授業での学習にどう繋げるか？
- ② 地域貢献活動を行うことで、生徒のどの能力が高まるのか？ その能力をどのように評価するのか？

新学習指導要領の理念

社会に開かれた教育課程

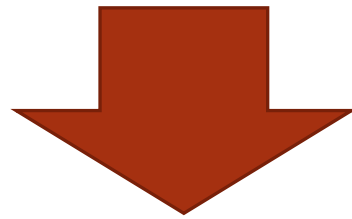
よりよい学校教育を通じよりよい社会を創るという目的を共有し、社会と連携・協働しながら、未来の作り手となるために**必要な資質能力**をはぐくむ

- ① **生きて働く知識・技能**
- ② **思考力・判断力・表現力**
- ③ **学びに向かう力・人間性**



コミュニティ・スクールの 仕組みを活用して

- ・生徒が地域貢献活動を行うことで地域の実情や課題を知る
- ・地域の力で幅広い学習機会を生徒に提供する



ふるさととの未来を託せる人を育成する！